



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 ヲアサ・フナシヨク株式会社  
コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石橋 宏

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	59,899	2.9	768	35.4	963	29.0	1,874	263.7
2023年3月期第2四半期	58,237	7.6	568	265.8	746	102.7	515	72.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,100百万円 (418.7%) 2023年3月期第2四半期 597百万円 (63.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	417.11	
2023年3月期第2四半期	114.68	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	62,104	36,140	57.5	7,952.09
2023年3月期	57,937	33,491	57.1	7,363.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 35,730百万円 2023年3月期 33,086百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				100.00	100.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2023年11月7日)公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値の差異、通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	6.0	1,700	16.3	2,000	13.7	2,600	133.8	578.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年11月7日)公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値の差異、通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,897,723 株	2023年3月期	4,897,723 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	404,505 株	2023年3月期	404,398 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	4,493,293 株	2023年3月期2Q	4,493,400 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(1) 販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が変更されて以降、経済活動正常化の動きが続く、内需の押し上げやインバウンド需要の高まりにより緩やかに景気回復が進んだ一方で、ロシア・ウクライナ情勢長期化の影響などによる不安定な国際情勢、原材料・エネルギー価格の高騰や為替の動向等、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、抑制されてきた対面サービスへの支出増加など、コロナ前の水準に向けた消費回復が継続しているものの、輸送コストや原材料高騰に伴う家庭用商品の値上げが続く、家計の節約志向の強まりや実質賃金低迷の長期化を招き個人の消費活動に影響を与えるなど、企業間競争は引き続き厳しい環境となりました。

ビジネスホテル業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束に向かう動きが強まり、ビジネスやレジャー客及び訪日外国人の需要回復が進み順調に推移しましたが、依然として人手不足が大きな懸念材料となっており、燃料費や物価高騰により利益が圧迫され厳しい環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様が快適に過ごせるサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は598億99百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は7億68百万円（前年同期比35.4%増）、経常利益は9億63百万円（前年同期比29.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億74百万円（前年同期比263.7%増）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期に比べ13億58百万円増加した主な要因は、八重洲一丁目北地区第一種市街地再開発事業による権利変換に伴う受取補償金14億4百万円、固定資産売却益3億48百万円を特別利益に計上したためであります。

#### 事業別セグメントの概況

##### ① 商事部門

商事部門につきましては、物価高騰による消費者の節約志向が継続するなか、価格競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

売上高の内訳は、食品では、加工食品が低調に推移しましたが、冷凍・チルド商品、菓子、酒類、砂糖が順調に推移し増収となりました。業務用商品では、小麦粉、澱粉の販売単価上昇及び、燃料、業務用食材の順調な推移などにより増収となりました。飼料・畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向け販売数量が減少し減収となりました。畜産は枝肉販売数量が減少しましたが、正肉販売数量が増加したことに加え、販売単価の上昇により増収となりました。米穀では、精米及び玄米の販売単価が上昇し増収となりました。

その結果、商事部門の売上高は584億71百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は7億64百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

##### ② ホテル部門

ホテル部門につきましては、新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴う各種イベントやスポーツ大会及び企業研修等の再開が多く見られるとともに、インバウンド需要も順調に回復しており、稼働率の回復が進み増収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は13億13百万円（前年同期比48.5%増）、営業利益は3億15百万円（前年同期は営業損失1億70百万円）となりました。

##### ③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高は1億14百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は1億8百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ41億67百万円増加し621億4百万円となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金の増加15億26百万円、未収入金の増加12億65百万円、建設仮勘定の増加12億29百万円、投資有価証券の増加17億79百万円、現金及び預金の減少13億41百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億18百万円増加し259億64百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の増加5億83百万円、未払法人税等の増加4億82百万円、繰延税金負債の増加5億68百万円、短期借入金の減少1億73百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ26億49百万円増加し361億40百万円となりました。主な内容は利益剰余金の増加14億24百万円、その他有価証券評価差額金の増加12億18百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは98百万円（前年同期比20百万円の収入減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益27億14百万円、受取補償金△14億4百万円、売上債権の増減額△15億25百万円、その他の資産の増減額2億95百万円、仕入債務の増減額5億83百万円、法人税等の支払額△2億96百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△8億3百万円（前年同期比7億23百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△10億30百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△6億33百万円（前年同期比3億25百万円の支出増）となりました。これは主に短期借入金の純増減額△1億70百万円、配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から16億25百万円減少し96億63百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想の詳細については、本日（2023年11月7日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値の差異、通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,046	9,704
受取手形及び売掛金	14,985	16,512
商品及び製品	1,890	1,979
仕掛品	38	38
原材料及び貯蔵品	318	355
未収入金	3,792	5,057
その他	48	63
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	32,115	33,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,824	10,526
減価償却累計額	△8,518	△8,376
建物及び構築物(純額)	2,306	2,150
機械装置及び運搬具	1,872	1,854
減価償却累計額	△1,621	△1,637
機械装置及び運搬具(純額)	250	217
土地	10,651	10,602
建設仮勘定	967	2,197
その他	1,497	1,379
減価償却累計額	△1,366	△1,240
その他(純額)	131	138
有形固定資産合計	14,306	15,305
無形固定資産		
ソフトウェア	36	25
その他	72	71
無形固定資産合計	108	97
投資その他の資産		
投資有価証券	8,963	10,743
長期貸付金	187	177
繰延税金資産	9	7
差入保証金	2,158	1,995
その他	210	195
貸倒引当金	△121	△122
投資その他の資産合計	11,407	12,996
固定資産合計	25,822	28,400
資産合計	57,937	62,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,915	19,499
短期借入金	1,943	1,769
未払法人税等	390	872
賞与引当金	63	68
その他	1,592	1,701
流動負債合計	22,905	23,911
固定負債		
長期借入金	—	30
繰延税金負債	585	1,154
退職給付に係る負債	710	666
役員退職慰労引当金	12	12
長期未払金	24	—
その他	208	189
固定負債合計	1,540	2,052
負債合計	24,446	25,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	19,769	21,194
自己株式	△876	△877
株主資本合計	30,080	31,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,023	4,242
退職給付に係る調整累計額	△17	△16
その他の包括利益累計額合計	3,006	4,225
非支配株主持分	404	409
純資産合計	33,491	36,140
負債純資産合計	57,937	62,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	58,237	59,899
売上原価	54,473	55,883
売上総利益	3,764	4,016
販売費及び一般管理費	3,196	3,247
営業利益	568	768
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	119	136
その他	60	57
営業外収益合計	186	201
営業外費用		
支払利息	7	6
その他	1	0
営業外費用合計	8	7
経常利益	746	963
特別利益		
投資有価証券売却益	13	—
固定資産売却益	0	349
受取補償金	—	1,404
特別利益合計	13	1,753
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	760	2,714
法人税、住民税及び事業税	172	799
法人税等調整額	70	35
法人税等合計	243	834
四半期純利益	516	1,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	515	1,874



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	516	1,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	1,219
退職給付に係る調整額	△4	0
その他の包括利益合計	80	1,220
四半期包括利益	597	3,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596	3,093
非支配株主に係る四半期包括利益	0	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	760	2,714
減価償却費	193	176
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	4
持分法による投資損益(△は益)	△8	△22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11	△43
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△85	1
受取利息及び受取配当金	△125	△143
支払利息	7	6
投資有価証券売却損益(△は益)	△13	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	△0	△347
受取補償金	—	△1,404
売上債権の増減額(△は増加)	△622	△1,525
棚卸資産の増減額(△は増加)	△173	△125
その他の資産の増減額(△は増加)	△144	295
仕入債務の増減額(△は減少)	1,297	583
その他の負債の増減額(△は減少)	△5	126
その他	△37	△12
小計	1,061	261
利息及び配当金の受取額	123	140
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,058	△296
営業活動によるキャッシュ・フロー	119	98
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△92	△1,030
有形固定資産の売却による収入	2	266
有形固定資産の除却による支出	△0	△40
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	16	—
貸付金の回収による収入	9	9
その他	△13	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79	△803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	67	△170
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△19	△22
配当金の支払額	△314	△449
その他	△40	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307	△633
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△260	△1,337
現金及び現金同等物の期首残高	11,549	11,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,289	9,663

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	57,246	884	107	58,237	—	58,237
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	9	0	26	36	△36	—
計	57,256	884	133	58,273	△36	58,237
セグメント利益又は損失(△)	965	△170	104	899	△331	568

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△331百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△331百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	58,471	1,313	114	59,899	—	59,899
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	13	0	26	39	△39	—
計	58,484	1,313	140	59,939	△39	59,899
セグメント利益又は損失(△)	764	315	108	1,188	△419	768

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△419百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△421百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	37,316	37,424	100.3
業務用商品	9,406	10,200	108.4
米穀	3,214	3,247	101.0
飼料・畜産	7,309	7,599	104.0
商事部門計	57,246	58,471	102.1
ホテル部門	884	1,313	148.5
不動産部門	107	114	106.8
合計	58,237	59,899	102.9